

子ども学の源流を次世代につなぐ

# 幼児の教育

[特集] 保育の「根本考察」にチャレンジ!

子ども学と児童学

[実践] 保育をつなぐ

学級・学年を超えて子どもたちとかがわる中で

[探究] 論文

幼児期の「かく(描く・書く)」という  
遊びに関する研究

2019  
}  
2020

冬

since 1901

第119巻 第1号

お茶の水女子大学

『幼児の教育』編集委員会





おおきくなったね！

（1月の0歳児保育室にて）

子どもの情景

写真

子どもの情景 1

目次 まと

冬を越えたムーミン 2

特集

保育の「根本考察」にチャレンジ！ 10

子ども学と児童学 4

《座談会 2019》

子ども学とは？ 児童学とは？ 5

実践

私の保育ノート

大切にしたい「心の育ち」

千葉綾子 24

実践ファイル

第6回 お茶の水女子大学

ライフ×アート展について

堀井武彦 28

保育をつなぐ

「お茶の水女子大学附属幼稚園からの発信」

Vol.4

学級・学年を超えて子どもたちとかわる中で

栗原妙佳 32

連載

倉橋惣三との対話 ⑩ 最終回

子ども時間をいとおしむ

浜口順子 38

# 目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある  
ステンドグラスの模様をデザイン化したものです。

## 視点

イギリスの保育から学ぶこと

〜レイチェルマクミランナーサリー〜

高橋陽子

42

## 文化

鎌倉おもちゃ屋物語 その4

黒須和清

47

## 探究

幼児期の「かく(描く・書く)」という遊び  
に関する研究

森志津

61

## 目録

『幼児の教育』平成31年 令和元年 総目録

62

## 子どものつとめ

イベント・メディア情報  
読者投稿・編集後記 他

63

まど

冬を越えたムーミン

『ムーミン谷の冬』(トーベ・ヤンソン作・絵、山室静訳 講談社青い鳥文庫) からいくつか好きな場面を書き留めたい。雪深い極寒の、長い夜が続く北欧フィンランドの冬。家族みんな冬眠で寝静まった中、一人目覚めてしまったムーミントロール。怖いオープンニングだ。

死と隣り合わせの冬。氷姫に見つめられて子りすが死んでしまったシーンは衝撃だった。日本の雪女伝説を彷彿とするが、りすの死を認めたくないムーミンに対して現実的なちびのミイは、死んだら死んだのよ。土になってその上に木がはえて新しいりすたちが枝の上ではね回る。それでも悲しいことだと思っ?と問い返す。「たぶん、そうは思わないだろうけど」とムーミン。トロールのご先祖さまを迎えるシーンも好きだ。初めはおいほれねずみだと思っていたのが先祖と知り、家族たちが眠る家の中を案内する。その後ご先祖が家具や絵を配置し直すのだが、その中でムーミンは誇りと安らぎを覚える。「大人になったね」と声をかけたくなる。このお話には実に多くの、家族以外のさまざまな人(妖精)たちとの出会いがある。「いきものつてもものは、なんてさまざまなんだろう」と心で呟くムーミン。冬も悪くない。(浜口)

## 編集後記

季節の巡りとともに『幼児の教育』を皆様にお届けしてきましたが、冬号には特別の趣があるように思います。本誌では、子どもたちの今を切り取り、幼児教育のこれからを展望し、さまざまなテーマを取り上げてきましたが、その中で何が見えてきたのでしょうか。皆様は、どのようなことを感じられているのでしょうか。ゆっくりと語りあってみたい、そんな気持ちに包まれます。

春号から新しく始まった企画に黒須和清氏による「鎌倉おもしろ屋物語」がありました。絵と文字で描かれるページから「ワクワク」が飛び出してきました。柔らかな発想でモノに命を吹き込む達人は、描いた紙面にも見事に命を吹き込んでいきます。来年

度も続く企画に期待が高まります。附属幼稚園による「保育をつなぐ」も新しい連載企画でした。子どもを真ん中において、それぞれの視点で「保育」が語られています。時間をかけてゆっくりつないでいた思いをしっかりと届けていきたい、この企画も来年度につながっていきます。

巻末に掲載している投稿論文からは、みずみずしいワクワク感が伝わってきます。過去、現在、未来をつなぐ本誌の役割として、新しい研究の発信は欠かせません。今後も、本誌ならではの投稿論文を掲載していきたいと思えます。

新しい春はもうすぐそこまで来ています。心躍らせて一歩を踏み出していきたいと思えます。(MA)

## 次号予告 幼児の教育 春号 2020年4月刊行予定

新コーナーを企画中です。

- ◇ 保育の「根本考察」にチャレンジ! 11  
— 保育における「つくる」ということ — 宮里暁美氏ほか
- ◇ OMEP京都大会報告 上垣内伸子氏ほか
- ◇ ノルウェー訪問記 松田こずえ氏

※タイトル内容が変更になる場合もあります。

## 幼児の教育 冬号 第119巻 第1号

令和2年1月1日発行  
編集発行人/浜口順子  
編集担当/田中恭子  
発行所/お茶の水女子大学  
『幼児の教育』編集委員会  
〒112-8610  
東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学  
浜口順子研究室内  
youji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jp

発売所/株式会社フレーベル館  
電話: 03-5395-6604 (編集)  
振替/00190-2-19640  
印刷所/図書印刷株式会社  
定価/本体880円+税  
◎お茶の水女子大学『幼児の教育』編集委員会  
2020 Printed in Japan 無断転載禁止  
落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。  
編集委員/上坂元絵里  
菊地知子  
松島のり子  
宮里暁美  
お茶大3園合同研究会  
(附属幼稚園、  
いずみナーサリー、  
文京区立お茶大こども園)  
編集協力/フレーベル館

● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613 (営業) ●

無藤 隆、大豆生田啓友監修

# 子どもの姿ベースの指導計画が スラスラ書ける！

## 子どもの姿ベースの 新しい指導計画の考え方 新要領・指针对応

無藤 隆、大豆生田啓友／編著  
高嶋景子、三谷大紀、北野幸子、齊藤多江子、  
松山洋平、和田美香／執筆

指導計画の考え方をマンガやイラストでわかりやすく  
解説した理論編

96 ページ 26×21cm 定価 本体 2,408 円＋税  
109-74 ISBN978-4-577-81468-0



## 0・1・2 歳児 子どもの姿ベースの指導計画 新要領・指针对応

無藤 隆、大豆生田啓友／編著  
高嶋景子、齊藤多江子、和田美香／執筆  
子どもの姿からつくる指導計画の考え方と、0・1・2 歳児  
の年間計画・月案・資料を掲載

192 ページ 26×21cm 定価 本体 2,900 円＋税  
109-75 ISBN978-4-577-81469-7



## 3・4・5 歳児 子どもの姿ベースの指導計画 新要領・指针对応

無藤 隆、大豆生田啓友／編著  
三谷大紀、北野幸子、松山洋平／執筆  
子どもの姿からつくる指導計画の考え方と、3・4・5 歳児  
の年間計画・月案・資料を掲載

192 ページ 26×21cm 定価 本体 2,900 円＋税  
109-76 ISBN978-4-577-81470-3



# 子どもの可能性を伸ばす スポーツ共育

杉山美沙子 / 著

元プロテニスプレーヤーの杉山愛さんの母でありコーチである著者は、多くのプロ選手と接する中で、「スポーツは人間力（生きる力）を高めるのに最適なツールだ」と実感。「子どもの可能性を伸ばす10の黄金法則」と、子どもが楽しく身体を動かすことができるスポーツプログラムをまとめました。

## 子どもの可能性を伸ばす スポーツ共育

杉山美沙子（一般社団法人共育代（株）代表）

保育ナビブック

子どもの発達を踏まえたプログラム例掲載



楽しいスポーツを通して、豊かな人間力！  
子どもが育つ、指導者が育つ、保護者が育つ  
「子どもの可能性を伸ばす10の黄金法則」

### Point

トップアスリートと  
接して気づいた

「スポーツ選手が  
人間的にも  
すばらしい理由」

子どもの「生きる力」を  
高めるために、  
スポーツの指導者の  
あり方とは？

すぐに実践できる！  
子どもの発達段階を踏まえた  
スポーツプログラム  
を掲載

定価本体 1,800 円＋税 全 80 ページ  
26×18cm 109-85 ISBN978-4-577-81472-7

### Contents

- 第1章** スポーツで人間力を高める  
コーチになって気づいた子どもとのかかわり方  
トップアスリートの幼児期に見られる共通点  
子どもの「いちばん」を見つけるために  
スポーツは人間力を高める最適なツール  
スポーツで幼児期の脳を鍛える
- 第2章** 子どもの可能性を伸ばす10の黄金法則
- 第3章** 子どもと指導者の人間力を高めるスポーツプログラム  
スポーツで養われる「3つの体力」  
スポーツプログラムの立案と指導のポイント（2歳児～5歳児）

定価 本体八八〇円＋税

キンダーブックの **フレーベル館**

くわしくはフレーベル館代理店・特約店・支社・支店・営業所  
または本社営業推進チーム (03) 5395-6608 にお問い合わせください。